第44回 日本小児臨床薬理学会 学術集会
モーニングセミナー3

原子力災害と安定ヨウ素剤

日 時 第2日目

2017年10月8日(日) 8:00〜8:50

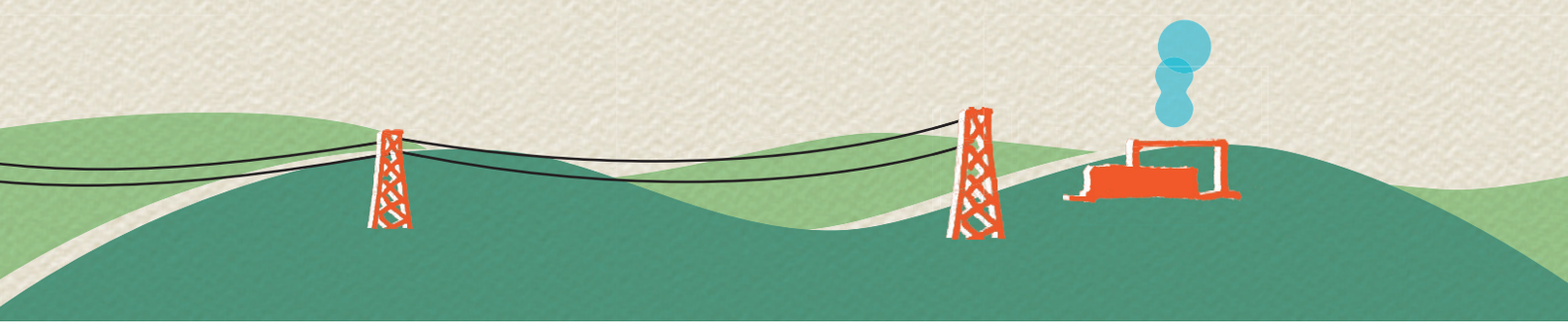
会 場 ホテルアソシア静岡 第3会場(橘)

座 長 入江 徹美

熊本大学大学院 生命科学研究部 薬剤情報分析学分野
薬学部附属育薬フロンティアセンター (CCPS)

講 師 太田 良雄

日立製作所多賀総合病院 内科



共催 : JA静岡厚生連 静岡厚生病院 小児科

原子力災害と安定ヨウ素剤

■太田 良雄（日立製作所多賀総合病院 内科）

【背景】

2011年の福島第一原子力発電所事故を契機に、国の原子力災害対策が強化され、様々な政策が進められている。その１つに、原子力施設周辺の住民を対象とした、安定ヨウ素剤の事前配布がある。
これを行う自治体は、全国で21道府県135市町村。静岡県では、御前崎市と牧之原市である。
配布方法は自治体によって多少異なるが、薬剤師、保健師、医師など地域の医療従事者が、配布対象者への説明、指導を担う。
安定ヨウ素剤の事前配布は、「発生するかどうかが不明な事故によって確率的に生じる疾病を想定した薬剤投与」という特殊な医療介入であり、日常診療とは違った難しさがある。

【目的】

安定ヨウ素剤の薬理学的特性や臨床的な問題についてまとめる。
特に、配布事業に関わる様々な立場の人々に役立つ情報を提供したい。

【要旨】

原子力災害による放射線被ばくの機序や被ばくによって生じる健康被害を整理した後、安定ヨウ素剤の作用機序、剤型、効果と副作用、エビデンス、その他のトピックスについて概説する。
最大のポイントは、健康被害のリスク評価と安定ヨウ素剤の効果であるが、小児と成人では異なる点が多いことを強調したい。

■ご略歴■

1992年　大阪大学医学部卒業
1992年　いわき市立総合磐城共立病院
1994年　東北大学医学部大学院
1995年　高萩協同病院
1997年　永仁会病院
2002年　水戸協同病院内科
2006年　日立製作所水戸総合病院内科
2008年　水戸協同病院総合診療科
2013年　日立製作所多賀総合病院内科